2024年（令和6年）
10月16日
（第三種郵便物認可 昭和23年4月15日）
毎月3回発行（第1,第2,第3火曜日）

今号の特集

▷中京地区有力ブランド特集 ⑧～⑪面
▷イオン環境の取組み ⑫面

中部飲食料新聞社ホームページ
http://chuin.net/【業界情報発信中】

「味の素®」は、うま味調味料です。さとうきびの糖蜜を発酵させてつくっています。

第3523号
発行所
中部飲食料新聞社
名古屋市中村区名駅5－18－9
電話（052）571－7116代表
FAX（052）571－7118
東京局
東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話（03）5614－7531
FAX（03）5614－7532

中部飲食料新聞

大正から 食を伝えて100有余年

愛知県酒類卸販売数量8月

前年同月比2.3%増

ビール系の好調が持続

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和6年8月の愛知県酒類卸販売数量（大卸実績及び小売業者販売実績）は全体で6万7032kℓ、前年同月比2.3%増となり、猛暑の需要増もあり5ヵ月連続の前年増となった。

構成比の大きいビールをはじめとするビール類は、ビールが14・2%増と2ケタ増となり発泡酒も大きな伸びを見せ、ビール類以外の落ち込みをカバーした。

ビール類以外の酒類ではRTDが好調なスピリッツが14%増（うち発泡性を有するもの14・2%増）と2ケタ増となり、連続式蒸留焼酎や清酒、ブランデー、甘味果実酒、みりんなど前年増のカテゴリーが目立った。

1～7月の累計は1.1%増。ビールや発泡酒の好調によりビール類が43・9%増と大幅な増加で推移しているものの、ビール類以外は22%減と大幅減となる。

愛知県の酒類卸販売数量　（単位：kℓ、前年比%）

区分	8月 数量	8月 前年比	1～8月 数量	1～8月 前年比
清酒	1,815	100.9	18,491	98.3
合成清酒	92	90.0	853	94.9
連続式蒸留焼酎	1,701	105.5	14,326	102.9
単式蒸留焼酎	2,005	97.6	17,457	99.3
みりん	589	115.5	46	105.3
ビール	20,902	114.2	134,910	108.5
果実酒	1,036	95.5	9,312	93.3
甘味果実酒	50	173.7	478	194.4
ウイスキー	1,304	88.9	10,552	103.9
ブランデー	21	103.3	241	97.2
原料用アルコール	0	－	1	－
発泡酒	16,795	343.8	111,116	315.1
その他の醸造酒	11	－	3,256	－
内発泡性を有するもの	1	－	3,170	－
スピリッツ類	12,043	114.0	86,079	111.3
内発泡性を有するもの	11,538	114.2	82,331	111.2
リキュール類	8,660	43.1	64,918	47.1
内発泡性を有するもの	7,702	40.8	57,640	44.8
雑酒	1	56.0	14	82.5
合計	67,032	102.3	476,620	101.1
ビール・発泡酒・その他醸造酒	37,709	143.9	249,283	138.7
ビール類除く酒類	29,322	74.6	227,337	78.0

明星食品「青春という名のラーメン」當真あみ起用新TVCM投下

明星食品は、1984年発売したブランドが令和版に進化して登場した「明星 青春という名のラーメン」を9月23日に新発売（既報）。10月1日から俳優の當真あみ起用の新TVCM「青春ください篇」を投下している。

「明星 青春という名のラーメン」は1984年（昭和59年）に発売。当時放送された「胸騒ぎください。」などのインパクトあるCMが話題となり高い人気を誇った。幅広いジャンルで〝レトロ〟が注目されるなか、当時のパッケージの印象は残しつつ、タイパニーズにも対応する1分で戻る麺や見栄え・食べ応えのある具材など中身を進化した。アイテムは「明星 青春という名のラーメン 胸さわぎでかミート しょうゆ味」「同 誘惑でかタマゴ チャンポン味」「同 純情でかポテト しおバター味」の3品。

新TVCMは、特徴である「具も麺も1分でおいしい」を伝えるため、発売当時の84年に放送し話題となった過去のTVCMをオマージュ。スキマスイッチの名曲「奏（かなで）」をBGMに、青春時代のドキドキを表現した情緒感溢れる内容。

カゴメ×ポッカサッポロ ホットで楽しむ『トマレモ』

両社商品使用共同企画第2弾

カゴメとポッカサッポロフード&ビバレッジは共同企画の第2弾として、「カゴメジュース」と「ポッカレモン100」を掛け合わせた『トマレモ』とした〝ホット〟で楽しむ新しい〝飲み方提案〟を行っている。

両社の共同展開は、近年のサウナブームによるサウナドリンクへの関心の高まりを受け22年に「カゴメトマトジュース」と「キレートレモン」を掛け合わせた『キレートマ』、「カゴメトマトジュース」と「ポッカレモン100」を掛け合わせた『トマレモ』の飲み方提案を行った。当初はECチャネルでの情報発信だったが、23年からは両社共同でSNSキャンペーンや店頭での情報発信なども実施した。そして今年6月には「キレートレモン」と「カゴメトマトジュース」1対1で掛け合わせた『キレトマ』をあらためて提案、さらならなる認知拡大や飲用経験の強化を図り、販売面で手応えを得たという。

今回の『トマレモ』の提案は、秋冬シーズンに最適なHOTメニューを提案。「カゴメトマトジュース」200mℓに「ポッカレモン100」小さじ2の割合で掛け合わせ電子レンジで温めるもの。情報発信策として10月4～14日にトマレモのトライアルセットや各商品が当たるSNSキャンペーン「#トマレモはじめよう 秋の健康習慣キャンペーン」を実施。店頭での売場提案（POPなどによる売場企画、マネキン試飲など）も実施した。10月15日以降も売場などでの両社による『トマレモ』の各種取組みは実施する。

両社合同説明会開催

10月3日には都内で「トマレモ」の合同説明会を開催。カゴメの西村晋介マーケティング本部飲料企画部部長は「『カゴメトマトジュース』は93年に日本初のトマトジュースとして発売され、現在まで日本人の味覚や時代が求めるおいしさに合わせて進化を続けてきた。今年1～6月の『カゴメトマトジュース』の出荷実績（金額ベース）は46%増で、購入率・購入量ともに伸長した。この好調は、トマトジュースの野菜摂取とした基本価値に加え、健康や美容とした機能価値の浸透によるトライアルの拡大、当社製品の味覚価値（甘くない、ピュアさ）によるリピート購入、『キレトマ』の飲み方提案などが消費者から支持を獲得したためと推測する。今回の『トマレモ』は、飲みやすく手軽においしく楽しめる組合せで、当事者としても完成度に驚いている」と説明した。

ポッカサッポロフード&ビバレッジの簗瀬尊弘常務執行役員マーケティング本部本部長兼ブランドマネジメント部部長は「『ポッカレモン100』は創業者の谷田利景が『手軽に使えるレモンを』という考えから1957年に合成レモンを瓶詰めにした商品を発売、72年には〝100%レモン果汁〟の商品となり、今年9月には機能性表示食品としてリニューアル発売した。これまで様々な用途拡大提案を行ってきたが、近年ではマヨネーズと合わせる〝レモネーズ〟や、焼肉への使用、豚しゃぶしゃぶへの使用など様々な提案に努めている。『ポッカレモン100』の販売動向として好調な販売を続けており、これからの寒い季節に最適な今回の『トマレモ』のHOT提案に大きな期待を寄せる」と述べた。

味の素AGF〈徳之島コーヒー生産者会〉初の商品化実現

味の素AGFが17年より鹿児島県奄美群島で実施する「徳之島コーヒー生産支援プロジェクト」にて、徳之島コーヒー生産者会はプロジェクト発足以来初めてとなる商品化（島内を中心に販売）を実現し、9月29日に鹿児島県伊仙町にある直売所で「徳之島コーヒー販売イベント」を開催した。

販売記念イベントでは、生産者会による商品のお披露目が行われ、徳之島コーヒー生産者会・泉延吉会長や味の素AGF・島本憲仁社長ら4者の代表による同プロジェクトへの想いや期待が述べられた。その後、徳之島コーヒーの商品説明や試飲、販売、豆の焙煎体験、さらに、コーヒーチェリーの果肉や皮を使用した飲み物やコーヒーの木の葉から作られたコーヒーリーフティーの試飲・販売も行われた。

参加者からは「飲みやすく深い味わい」「自宅でコーヒーの苗を育てているがまだ一度も実にならず勉強に来た。生産者会の入会にも興味がある」「焙煎体験ははじめて」などの声が聞かれた。

中飲 食知る辺

現場のリアルな声

帝国データバンクによれば今年の1～9月の飲食店の倒産は居酒屋、ラーメン店など過去最多のペースという。大多数の人の実質賃金が上がらない中で、人手不足、人件費や材料費等のコストが上昇すれば必然の流れだろう。

このネットニュースに現役の飲食店経営者という人が「千円以下の食事しかしない人はバッサリ切り捨てて、一五〇〇円あたりを中心層にしなければ運営は不可能でしょう。千円出さない人は絶対に千円出しませんけど、一五〇〇円出す人は二千円までは普通に出してくれます。そういう人だけを客層にシフトしなければ未来はありません。千円出せない人は安いチェーン店に行きましょう」とコメントしていた。文末は過激だが日々奮闘する人のリアルな現場の声の一例である。

RIKYU SESAME
利久胡麻®
食の楽しみを広げる調味ごま
素材の味を引き立てる、辛みと香り、旨味と食感をお楽しみください

株式会社 真誠（しんせい） 〒481-8526 愛知県北名古屋市片場新町29 | TEL(0568)23-3311 FAX(0568)22-4245 | 北海道・東北営業部／関東営業部／中部営業部／近畿営業部／中四国営業部／九州営業部／関ヶ原工場／名古屋工場／胡麻の郷